

第2節 インターネットに関する子供・保護者の認識

(1) 子供のインターネットの危険性に関する啓発や学習の経験

(a) 子供の啓発や学習の経験の有無

回答した全ての低年齢層の子供の保護者(2,225人)に、子供がインターネットの危険性について説明を受けたり学んだりした経験があるかを聞いた結果、「説明を受けたり学んだりしたことがある」は19.6%、「説明を受けたり学んだりしたことはない」は67.9%である。

平成30年度の調査結果と比べると、大きな変化はみられない。

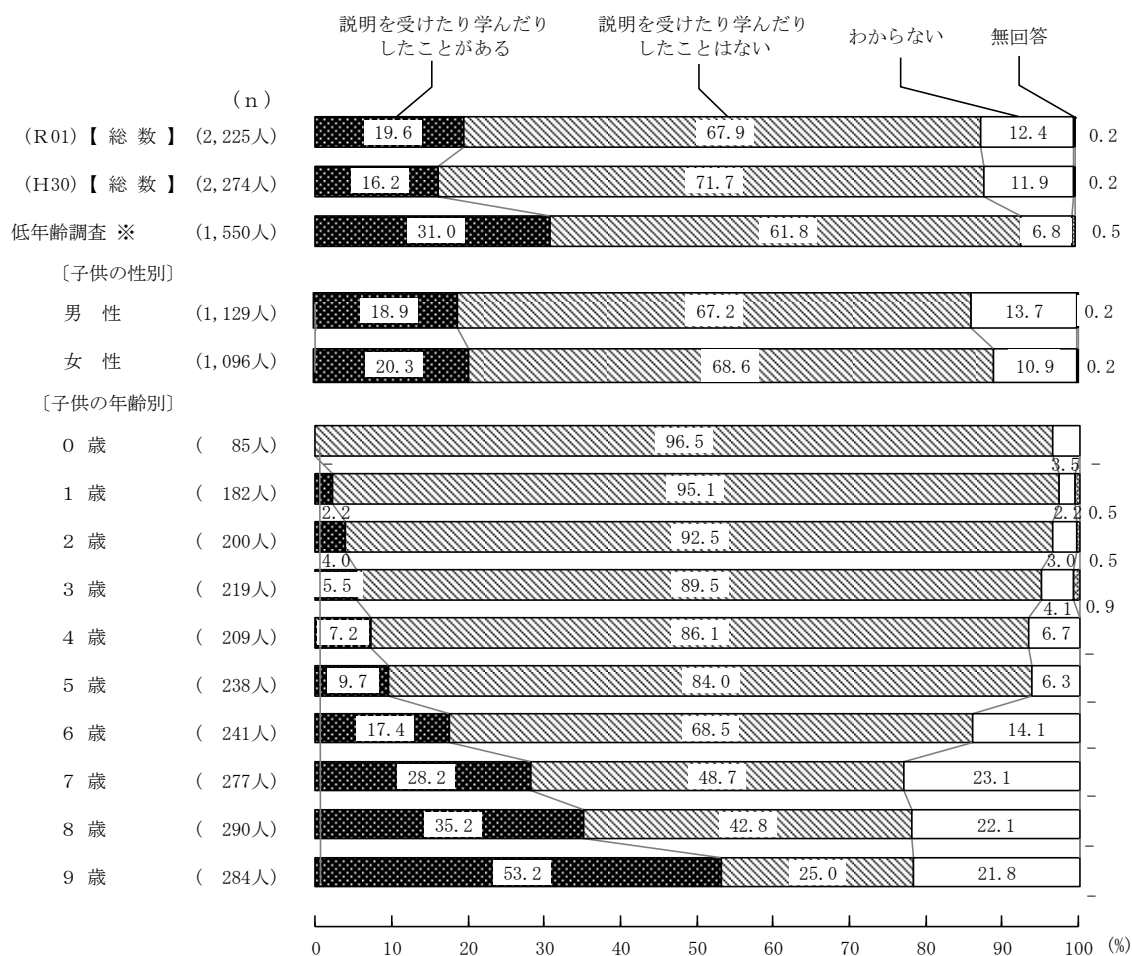
子供の性別にみると、男女で大きな差はみられない。

子供の年齢別にみると、「説明を受けたり学んだりしたことがある」はおおむね年齢が上がるほど多くなっている。

< 全員に >

Q13-1 あなたのお子様は、青少年に不適切なサイト（出会い系サイトやアダルトサイトなど）やネットいじめの問題など、インターネットの危険性について、これまで説明を受けたり学んだりしたことがありますか。（1つだけ）

図表 2-3-2-1a-1 子供の啓発や学習の経験の有無（子供の性別、年齢別）



※子供の啓発や学習の経験についての質問形式は、低年齢調査(平成29年1月実施)では回答した全ての保護者に、子供の啓発や学習の経験の「機会」について複数回答で問う設問であり、平成30年度以降の「子供の啓発や学習の経験の有無」を問う設問と相違があるため、調査結果を直接比較できない。

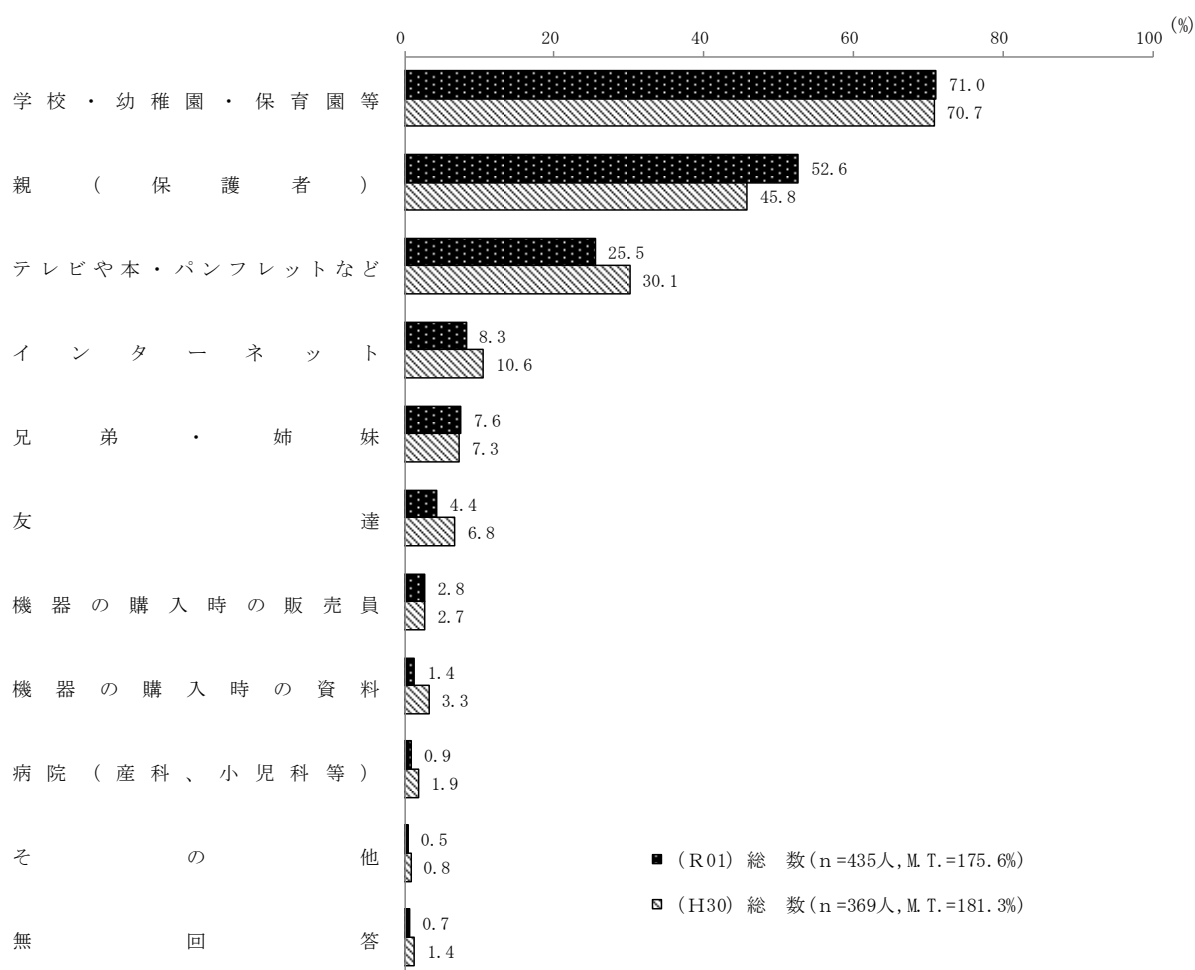
(b) 子供の啓発や学習の機会

子供がインターネットの危険性について説明を受けたり学んだりしたことがあると答えた低年齢層の子供の保護者（435人）に、子供自身の学習の機会を聞いた結果、「学校・幼稚園・保育園等」が71.0%と最も多く、次いで「親（保護者）」が52.6%、「テレビや本・パンフレットなど」が25.5%、「インターネット」が8.3%となっている。

平成30年度の調査結果と比べると、「親（保護者）」が、平成30年度（45.8%）から令和元年度（52.6%）で6.8ポイント増加している。

<Q13-1で「1 はい」（子供自身が説明を受けたり学んだりしたことがある）と回答した方に>
Q13-2 この中から、あなたのお子様が、説明を受けたり学んだりした機会として、あてはまるものをすべて選んでください。（いくつでも）

図表 2-3-2-1b-1 子供の啓発や学習の機会



子供の性別にみると、「学校・幼稚園・保育園等」は、男子が67.1%、女子が74.8%と男子より女子の方が多い。

子供の年齢別については、分析軸の回答者数（n）が50人未満であるため、参考として図示する。

図表 2-3-2-1b-2 子供の啓発や学習の機会（子供の性別、年齢別）

	n (人)	学校・幼稚園・保育園等	親 (保護者)	兄弟・姉妹	病院 (産科、小児科等)	機器の購入時の販売員	機器の購入時の資料	友達	テレビや本・パンフレットなど	インターネット	その他	無回答
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
(R01) 【総数】	435	71.0	52.6	7.6	0.9	2.8	1.4	4.4	25.5	8.3	0.5	0.7
(H30) 【総数】	369	70.7	45.8	7.3	1.9	2.7	3.3	6.8	30.1	10.6	0.8	1.4
[子供の性別]												
男性	213	67.1	52.1	8.9	1.9	3.3	1.4	3.3	24.4	8.9	-	0.5
女性	222	74.8	53.2	6.3	-	2.3	1.4	5.4	26.6	7.7	0.9	0.9
[子供の年齢別]												
0歳	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1歳	4	25.0	50.0	-	-	-	-	-	25.0	-	-	-
2歳	8	37.5	25.0	-	-	-	-	12.5	25.0	25.0	-	-
3歳	12	58.3	25.0	-	8.3	8.3	-	8.3	33.3	16.7	-	-
4歳	15	60.0	46.7	-	-	6.7	6.7	-	40.0	6.7	-	-
5歳	23	60.9	52.2	4.3	4.3	8.7	8.7	8.7	30.4	21.7	4.3	-
6歳	42	52.4	50.0	-	2.4	4.8	-	4.8	21.4	7.1	-	-
7歳	78	71.8	50.0	9.0	1.3	2.6	1.3	3.8	24.4	6.4	-	1.3
8歳	102	72.5	57.8	8.8	-	2.0	1.0	2.9	27.5	9.8	-	1.0
9歳	151	81.5	55.6	10.6	-	1.3	0.7	4.6	23.2	5.3	0.7	0.7

(c) 子供の啓発や学習の内容

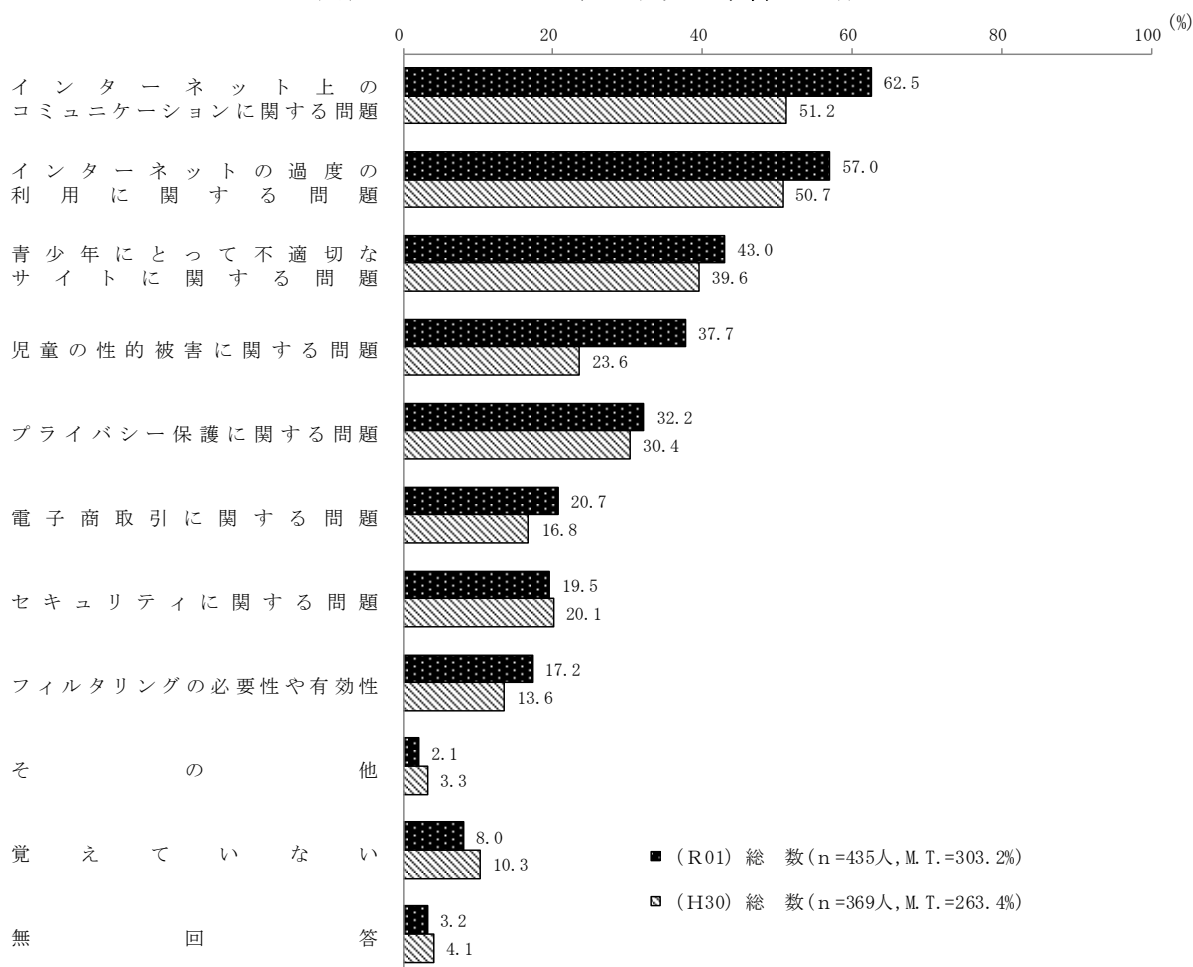
子供がインターネットの危険性について説明を受けたり学んだりしたことがあると答えた低年齢層の子供の保護者（435人）に、子供自身の啓発や学習の内容を聞いた結果、「インターネット上のコミュニケーションに関する問題」が62.5%で最も多く、次いで「インターネットの過度の利用に関する問題」が57.0%、「青少年にとって不適切なサイトに関する問題」が43.0%、「児童の性的被害に関する問題」が37.7%、「プライバシー保護に関する問題」が32.2%、「電子商取引に関する問題」が20.7%、「セキュリティに関する問題」が19.5%である。

「フィルタリングの必要性や有効性」は、17.2%である。

平成30年の調査結果と比べると、「インターネット上のコミュニケーションに関する問題」が、平成30年度（51.2%）から令和元年度（62.5%）で11.3ポイント増加している。「インターネットの過度の利用に関する問題」も、平成30年度（50.7%）から令和元年度（57.0%）で6.3ポイント増加している。

＜Q13-1で「1 はい」（子供自身が説明を受けたり学んだりしたことがある）と回答した方に＞
Q14 あなたのお子様は、インターネットの危険性について、どのような内容の説明を受けたり学んだりしたことがありますか。この中から、説明を受けたり学んだりしたものとして、あてはまるものをすべて選んでください。（いくつでも）

図表 2-3-2-1c-1 子供の啓発や学習の内容



子供の性別にみると、「青少年にとって不適切なサイトに関する問題」（男子：38.5%、女子：47.3%）、「児童の性的被害に関する問題」（男子：30.0%、女子：45.0%）は、男子より女子の方が多い。

一方、「インターネットの過度の利用に関する問題」は、男子が60.1%、女子が54.1%と女子より男子の方が多い。

子供の年齢別については、分析軸の回答者数（n）が50人未満であるため、参考として図示する。

図表 2-3-2-1c-2 子供の啓発や学習の内容（子供の性別、年齢別）

	n (人)	青少年にとって不適切なサイトに関する問題	児童の性的被害に関する問題	インターネット上のコミュニケーションに関する問題	インターネットの過度の利用に関する問題	電子商取引に関する問題	プライバシー保護に関する問題	セキュリティに関する問題	フィルタリングの必要性や有効性	その他	覚えていない	無回答
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
(R01) 【総数】	435	43.0	37.7	62.5	57.0	20.7	32.2	19.5	17.2	2.1	8.0	3.2
(H30) 【総数】	369	39.6	23.6	51.2	50.7	16.8	30.4	20.1	13.6	3.3	10.3	4.1
[子供の性別]												
男性	213	38.5	30.0	61.0	60.1	19.7	31.0	20.7	18.8	1.9	8.9	5.2
女性	222	47.3	45.0	64.0	54.1	21.6	33.3	18.5	15.8	2.3	7.2	1.4
[子供の年齢別]												
0歳	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1歳	4	25.0	-	-	-	-	-	-	-	-	25.0	50.0
2歳	8	50.0	25.0	37.5	37.5	12.5	12.5	25.0	25.0	-	12.5	12.5
3歳	12	58.3	33.3	58.3	58.3	16.7	25.0	25.0	33.3	8.3	8.3	-
4歳	15	40.0	33.3	53.3	60.0	13.3	13.3	20.0	13.3	-	13.3	13.3
5歳	23	34.8	34.8	39.1	47.8	17.4	30.4	30.4	4.3	4.3	17.4	8.7
6歳	42	50.0	28.6	52.4	54.8	16.7	33.3	14.3	21.4	2.4	2.4	7.1
7歳	78	43.6	32.1	56.4	61.5	19.2	25.6	17.9	17.9	2.6	5.1	1.3
8歳	102	48.0	47.1	72.5	53.9	28.4	38.2	26.5	20.6	2.9	6.9	1.0
9歳	151	37.7	39.7	69.5	60.9	19.9	35.8	15.2	14.6	0.7	9.3	1.3

(2) 低年齢層の子供の保護者のインターネットの危険性に関する啓発や学習の経験

(a) 低年齢層の子供の保護者の啓発や学習の経験の有無

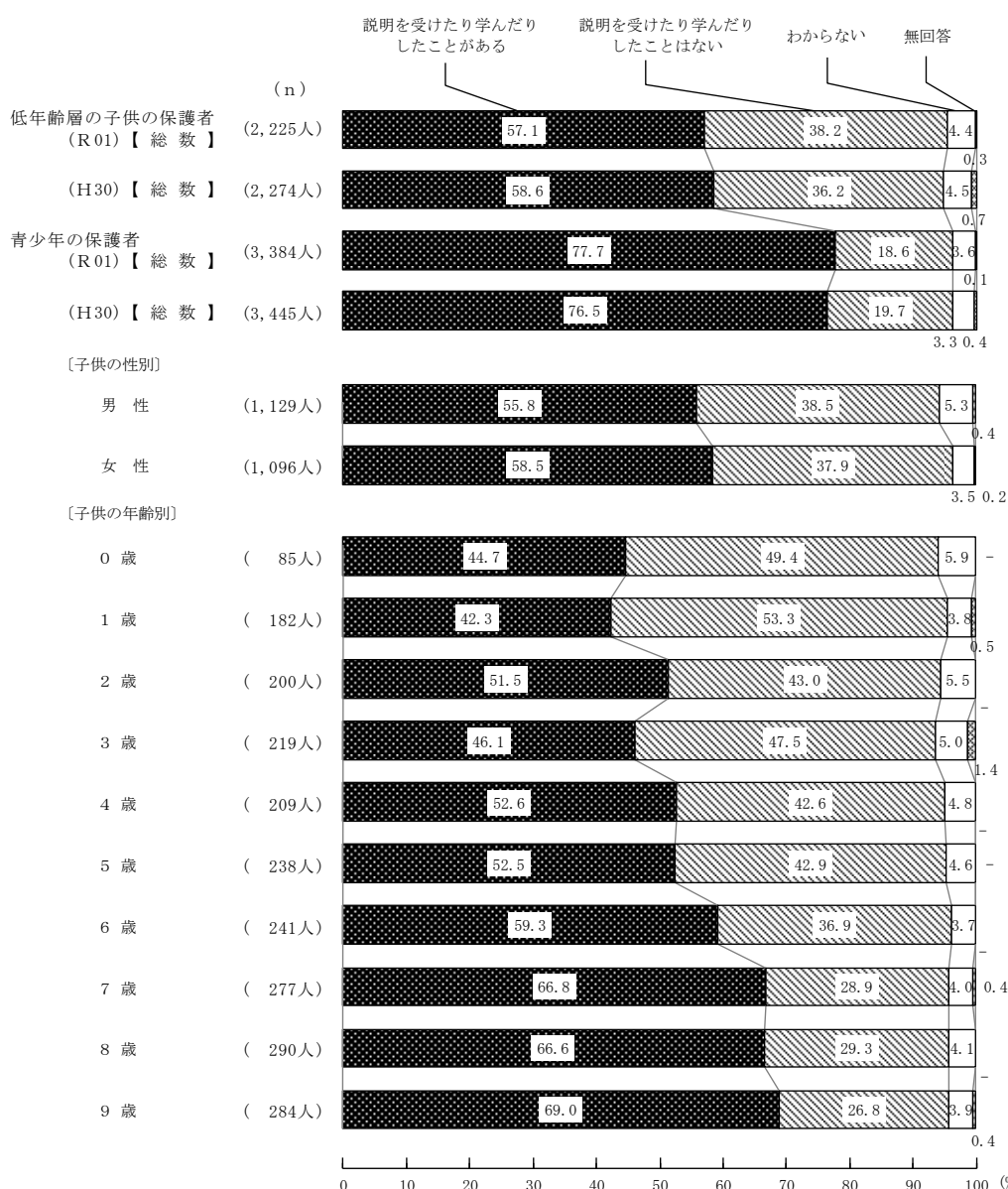
回答した全ての低年齢層の子供の保護者(2,225人)に、インターネットの危険性について説明を受けたり学んだりした経験があるかを聞いた結果、「説明を受けたり学んだりしたことがある」は57.1%、「説明を受けたり学んだりしたことはない」は38.2%である。

青少年の保護者の「啓発や学習の経験の有無」の回答(第2章 第2節(1) a)と比較すると、「説明を受けたり学んだりしたことがある」は低年齢層の子供の保護者で多い。

平成30年の調査結果と比べると、大きな変化はみられない。

< 全員に >
Q15-1 あなた(保護者自身)は、青少年に不適切なサイト(出会い系サイトやアダルトサイトなど)やネットいじめの問題など、インターネットの危険性について、これまで説明を受けたり学んだりしたことがありますか。(1つだけ)

図表 2-3-2-2a-1 低年齢層の子供の保護者の啓発や学習の経験の有無(子供の性別、年齢別)



※子供の保護者の啓発や学習の経験についての質問形式は、低年齢調査(平成29年1月実施)では回答した全ての保護者に、啓発や学習の経験の「機会」について複数回答で問う設問であり、平成30年度以降の「啓発や学習の経験の有無」を問う設問と相違があるため、調査結果を直接比較できない。

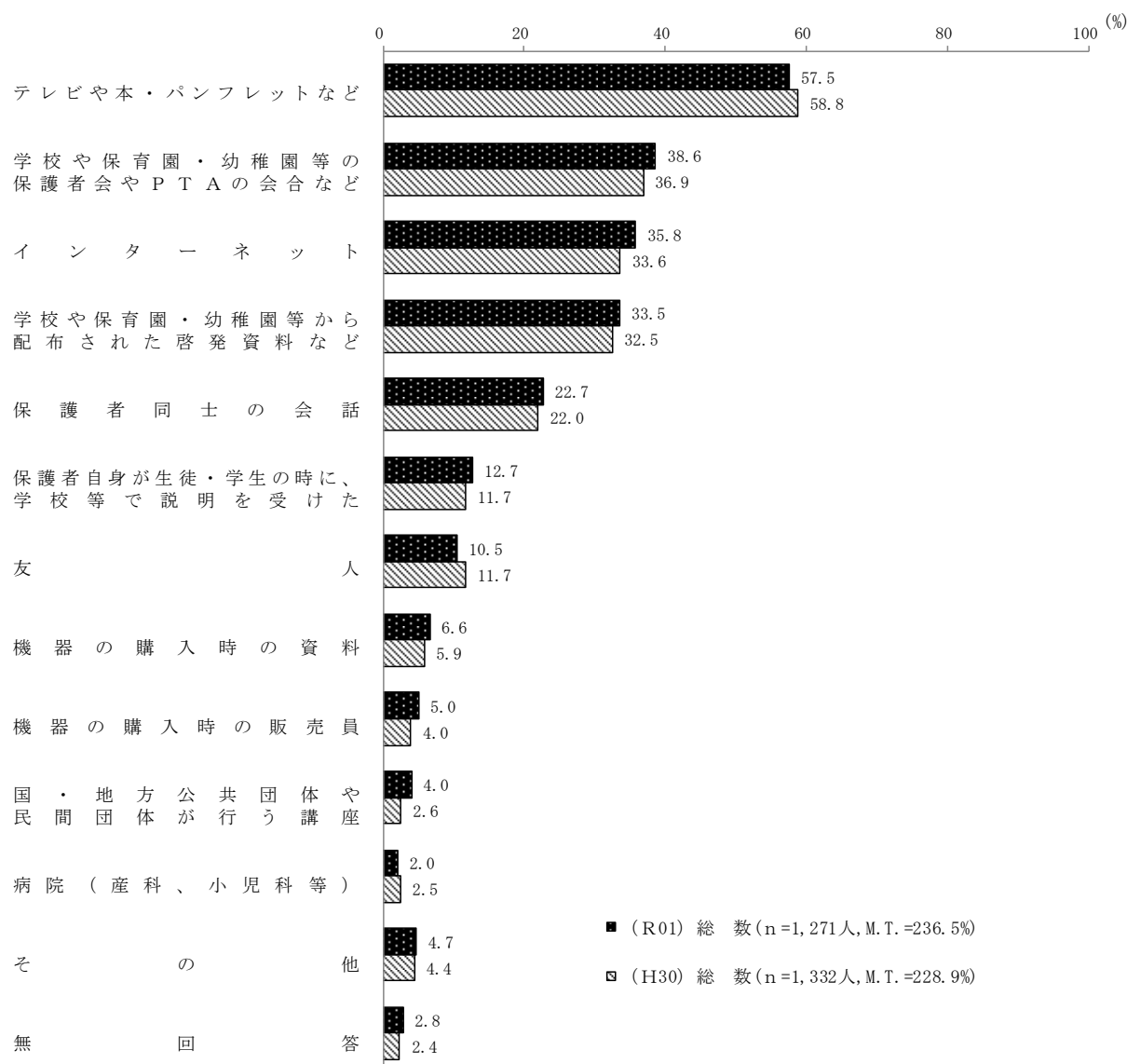
(b) 低年齢層の子供の保護者の啓発や学習の機会

インターネットの危険性について説明を受けたり学んだりしたことがあると答えた低年齢層の子供の保護者(1,271人)に、啓発や学習の機会を聞いた結果、「テレビや本・パンフレットなど」が57.5%と最も多く、次いで「学校や保育園・幼稚園等の保護者会やPTAの会合など」が38.6%、「インターネット」が35.8%、「学校や保育園・幼稚園等から配布された啓発資料など」が33.5%、「保護者同士の会話」が22.7%となっている。

平成30年の調査結果と比べると、大きな変化はみられない。

<Q15-1で「1 はい」(保護者自身が説明を受けたり学んだりしたことがある)と回答した方に>
Q15-2 この中から、説明を受けたり学んだりした機会として、あてはまるものをすべて選んでください。(いくつでも)

図表 2-3-2-2b-1 低年齢層の子供の保護者の啓発や学習の機会



子供の性別にみると、男女で大きな差はみられない。

子供の年齢別にみると、「学校や保育園・幼稚園等の保護者会やPTAの会合など」、「学校や保育園・幼稚園等から配布された啓発資料など」はおおむね、年齢が上がるほど多くなる。一方「保護者自身が生徒・学生の時に、学校等で説明を受けた」はおおむね年齢が上がるほど少なくなる。

図表 2-3-2-2b-2 低年齢層の子供の保護者の啓発や学習の機会（子供の性別、年齢別）

	n (人)	学校や保育園・幼稚園等の保護者会やPTAの会合など	学校や保育園・幼稚園等から配布された啓発資料など	国・地方公共団体や民間団体が行う講座	病院（産科、小児科等）	機器の購入時の販売員	機器の購入時の資料	友人	保護者同士の会話	テレビや本・パンフレットなど	インターネット	保護者自身が生徒・学生の時に、学校等で説明を受けた	その他	無回答
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
(R01) 【総数】	1,271	38.6	33.5	4.0	2.0	5.0	6.6	10.5	22.7	57.5	35.8	12.7	4.7	2.8
(H30) 【総数】	1,332	36.9	32.5	2.6	2.5	4.0	5.9	11.7	22.0	58.8	33.6	11.7	4.4	2.4
〔子供の性別〕														
男性	630	38.4	32.5	4.4	2.2	5.9	6.7	11.7	24.0	56.2	35.1	14.6	4.0	3.3
女性	641	38.8	34.5	3.6	1.9	4.2	6.6	9.2	21.4	58.8	36.5	10.8	5.5	2.3
〔子供の年齢別〕														
0歳	38	7.9	18.4	5.3	2.6	2.6	5.3	15.8	5.3	57.9	39.5	31.6	13.2	5.3
1歳	77	13.0	9.1	6.5	3.9	1.3	1.3	9.1	11.7	58.4	35.1	23.4	10.4	3.9
2歳	103	19.4	16.5	3.9	4.9	3.9	3.9	13.6	16.5	61.2	34.0	25.2	4.9	5.8
3歳	101	23.8	19.8	4.0	4.0	4.0	3.0	6.9	10.9	65.3	38.6	21.8	5.0	4.0
4歳	110	29.1	23.6	2.7	1.8	3.6	7.3	10.9	25.5	65.5	34.5	19.1	9.1	-
5歳	125	35.2	24.8	5.6	2.4	7.2	6.4	8.8	22.4	56.0	36.0	11.2	2.4	8.0
6歳	143	44.1	44.1	2.8	1.4	3.5	7.7	7.7	21.7	53.8	35.7	6.3	2.8	2.1
7歳	185	51.4	43.8	2.2	1.1	7.6	6.5	9.2	29.7	54.6	33.5	7.0	5.4	1.6
8歳	193	49.7	37.8	5.7	2.1	5.2	8.8	10.9	29.0	57.5	38.9	6.7	3.1	0.5
9歳	196	53.1	51.5	3.6	-	6.1	9.2	13.8	26.0	53.1	34.7	6.6	2.0	2.0

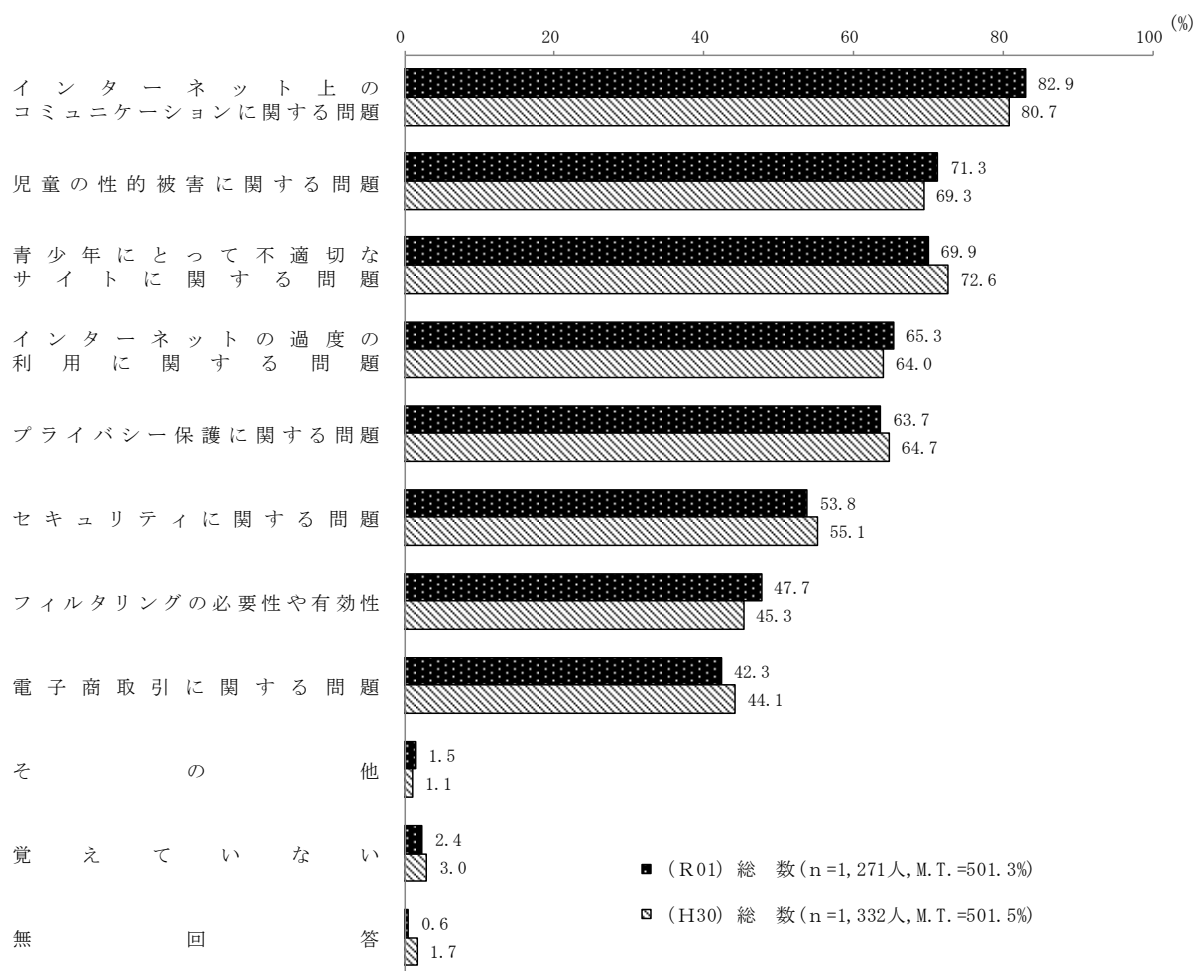
(c) 低年齢層の子供の保護者の啓発や学習の内容

インターネットの危険性について説明を受けたり学んだりしたことがあると答えた低年齢層の子供の保護者(1,271人)に、啓発や学習の内容を聞いた結果、「インターネット上のコミュニケーションに関する問題」が82.9%と最も多く、次いで「児童の性的被害に関する問題」が71.3%、「青少年にとって不適切なサイトに関する問題」が69.9%、「インターネットの過度の利用に関する問題」が65.3%、「プライバシー保護に関する問題」が63.7%、「セキュリティに関する問題」が53.8%、「フィルタリングの必要性や有効性」が47.7%、「電子商取引に関する問題」が42.3%となっている。

平成30年の調査結果と比べると、大きな変化はみられない。

<Q15-1で「1 はい」(保護者自身が説明を受けたり学んだりしたことがある)と回答した方に>
Q16 あなた(保護者自身)は、インターネットの危険性について、どのような内容の説明を受けたり学んだりしたことがありますか。この中から、説明を受けたり学んだりしたものとして、あてはまるものをすべて選んでください。(いくつでも)

図表 2-3-2-2c-1 低年齢層の子供の保護者の啓発や学習の内容



子供の性別にみると、「青少年にとって不適切なサイトに関する問題」（男子の保護者：66.8%、女子の保護者：73.0%）、「児童の性的被害に関する問題」（男子の保護者：68.3%、女子の保護者：74.3%）は、男子の保護者より女子の保護者の方が多い。

子供の年齢別にみると、「インターネット上のコミュニケーションに関する問題」は8歳で89.1%、9歳で87.8%と多くなっている。

図表 2-3-2-2c-2 低年齢層の子供の保護者の啓発や学習の内容（子供の性別、年齢別）

	n (人)	青少年にとって不適切なサイトに関する問題	児童の性的被害に関する問題	インターネット上のコミュニケーションに関する問題	インターネットの過度の利用に関する問題	電子商取引に関する問題	プライバシー保護に関する問題	セキュリティに関する問題	フィルタリングの必要性や有効性	その他	覚えていない	無回答
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
(R01) 【総数】	1,271	69.9	71.3	82.9	65.3	42.3	63.7	53.8	47.7	1.5	2.4	0.6
(H30) 【総数】	1,332	72.6	69.3	80.7	64.0	44.1	64.7	55.1	45.3	1.1	3.0	1.7
〔子供の性別〕												
男性	630	66.8	68.3	81.0	63.3	40.3	61.9	53.5	47.6	1.9	2.4	1.0
女性	641	73.0	74.3	84.9	67.2	44.3	65.4	54.1	47.7	1.1	2.3	0.2
〔子供の年齢別〕												
0歳	38	71.1	71.1	76.3	44.7	36.8	68.4	47.4	28.9	5.3	2.6	-
1歳	77	64.9	68.8	76.6	59.7	42.9	67.5	53.2	37.7	1.3	3.9	2.6
2歳	103	68.9	67.0	75.7	58.3	37.9	61.2	55.3	45.6	-	1.0	1.9
3歳	101	69.3	66.3	79.2	68.3	39.6	61.4	51.5	45.5	3.0	-	1.0
4歳	110	72.7	75.5	89.1	64.5	40.0	65.5	57.3	52.7	2.7	1.8	-
5歳	125	67.2	65.6	76.8	57.6	36.0	61.6	47.2	38.4	1.6	6.4	0.8
6歳	143	70.6	69.9	83.2	69.2	38.5	58.7	50.3	43.4	1.4	1.4	-
7歳	185	71.9	73.0	81.6	69.2	43.2	63.2	54.6	49.7	0.5	2.2	-
8歳	193	69.9	73.1	89.1	64.8	45.1	64.2	51.8	50.3	1.0	1.6	0.5
9歳	196	70.4	76.0	87.8	73.0	51.5	67.3	61.7	59.2	1.5	3.1	-

(3) 低年齢層の子供の保護者のインターネットの危険性に関する学習テーマ

回答した全ての低年齢層の子供の保護者(2,225人)に、インターネットの危険性に関する学習の機会があったとして、どのようなテーマが知りたいかを聞いた結果、「インターネット上のコミュニケーションに関する問題」が50.2%と最も多く、次いで「セキュリティに関する問題」が47.4%、「プライバシー保護に関する問題」が46.9%、「児童の性的被害に関する問題」が44.8%、「青少年にとって不適切なサイトに関する問題」が44.5%、「フィルタリングの必要性や有効性」が41.0%、「インターネットの過度の利用に関する問題」が38.2%、「新しい機器やサービスに関する情報、危険性」が32.9%、「電子商取引に関する問題」が26.2%である。

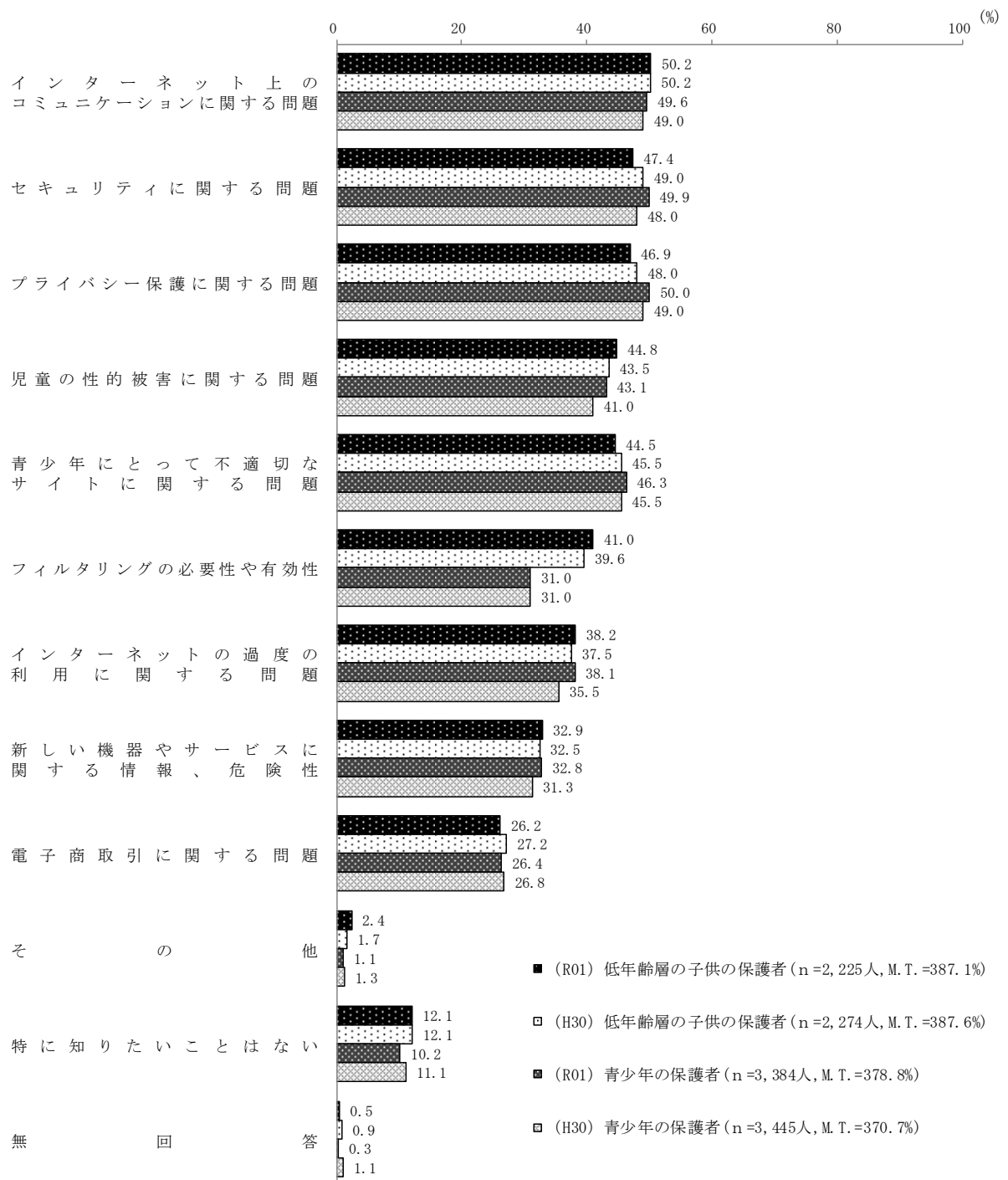
青少年の保護者の「インターネットの危険性に関する学習テーマ」の回答(第2章 第2節(2))と比較すると、「フィルタリングの必要性や有効性」は低年齢層の子供の保護者で多い。

平成30年の調査結果と比べると、大きな変化はみられない。

< 全員に >

Q17 あなた(保護者自身)は、インターネットの危険性に関する学習の機会があったとして、どのようなテーマが知りたいですか。この中から、あてはまるものをすべて選んでください。(いくつでも)

図表 2-3-2-3-1 低年齢層の子供の保護者のインターネットの危険性に関する学習テーマ



子供の性別にみると、「児童の性的被害に関する問題」（男子の保護者：41.0%、女子の保護者：48.6%）、「フィルタリングの必要性や有効性」（男子の保護者：38.3%、女子の保護者：43.9%）は、男子の保護者より女子の保護者の方が多い。

子供の年齢別にみても、大きな違いはみられない。

図表 2-3-2-3-2 低年齢層の子供の保護者のインターネットの危険性に関する学習テーマ
(子供の性別、年齢別)

	n (人)	青少年にとって不適切なサイトに関する問題	児童の性的被害に関する問題	インターネット上のコミュニケーションに関する問題	インターネットの過度の利用に関する問題	電子商取引に関する問題	プライバシー保護に関する問題	セキュリティに関する問題	フィルタリングの必要性や有効性	新しい機器やサービスに関する情報、危険性	その他	特に知りたいことはない	無回答
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
(R01) 【総数】	2,225	44.5	44.8	50.2	38.2	26.2	46.9	47.4	41.0	32.9	2.4	12.1	0.5
(H30) 【総数】	2,274	45.5	43.5	50.2	37.5	27.2	48.0	49.0	39.6	32.5	1.7	12.1	0.9
[子供の性別]													
男性	1,129	43.2	41.0	48.6	38.2	25.2	46.9	46.9	38.3	32.2	2.3	13.0	0.6
女性	1,096	45.8	48.6	51.9	38.2	27.2	47.0	47.9	43.9	33.7	2.6	11.1	0.4
[子供の年齢別]													
0歳	85	48.2	48.2	54.1	38.8	20.0	43.5	47.1	36.5	34.1	3.5	11.8	-
1歳	182	41.8	40.1	50.0	39.6	28.6	44.0	50.5	42.9	26.4	2.2	14.8	-
2歳	200	47.0	44.5	48.5	36.5	28.5	51.0	51.0	38.0	31.5	3.0	15.0	0.5
3歳	219	42.0	45.2	48.9	39.3	26.5	47.5	41.1	34.2	33.3	3.2	11.9	2.3
4歳	209	46.4	49.8	57.9	42.6	30.1	48.8	47.4	46.4	36.4	3.8	12.9	-
5歳	238	47.1	46.6	53.8	36.6	22.7	46.2	45.0	42.9	31.5	2.1	10.5	-
6歳	241	46.5	45.2	48.5	35.3	24.5	48.1	46.5	40.7	30.7	3.7	10.0	-
7歳	277	45.1	46.9	48.7	36.8	24.5	46.9	46.9	46.2	33.2	1.1	10.1	0.7
8歳	290	40.0	41.4	44.8	37.2	26.6	44.8	48.6	38.3	34.5	1.0	12.8	0.3
9歳	284	44.0	42.3	51.4	40.5	27.5	46.8	49.6	41.2	35.9	2.1	12.3	0.7

(4) 低年齢層の子供の保護者のインターネットの危険性に関する学習内容や形式

回答した全ての低年齢層の子供の保護者(2,225人)に、インターネットの危険性に関する学習について、どのような内容・形式で行われるのが良いかを聞いた結果、「インターネットに関するトラブルについて、実例を紹介してほしい」が67.6%と最も多く、次いで「インターネットに関するトラブルについて、対策を紹介してほしい」が63.6%、「後でいつでも読める資料配布形式が良い」が34.8%、「短時間で説明してほしい」が32.8%、「映像教材の視聴形式が良い」が32.2%、「インターネットのトラブルについて、幅広く説明してほしい」が26.7%、「インターネットのトラブルについて、詳しく解説してほしい」が25.3%、「スマートフォン等を活用した機器体験型形式が良い」が21.2%となっている。

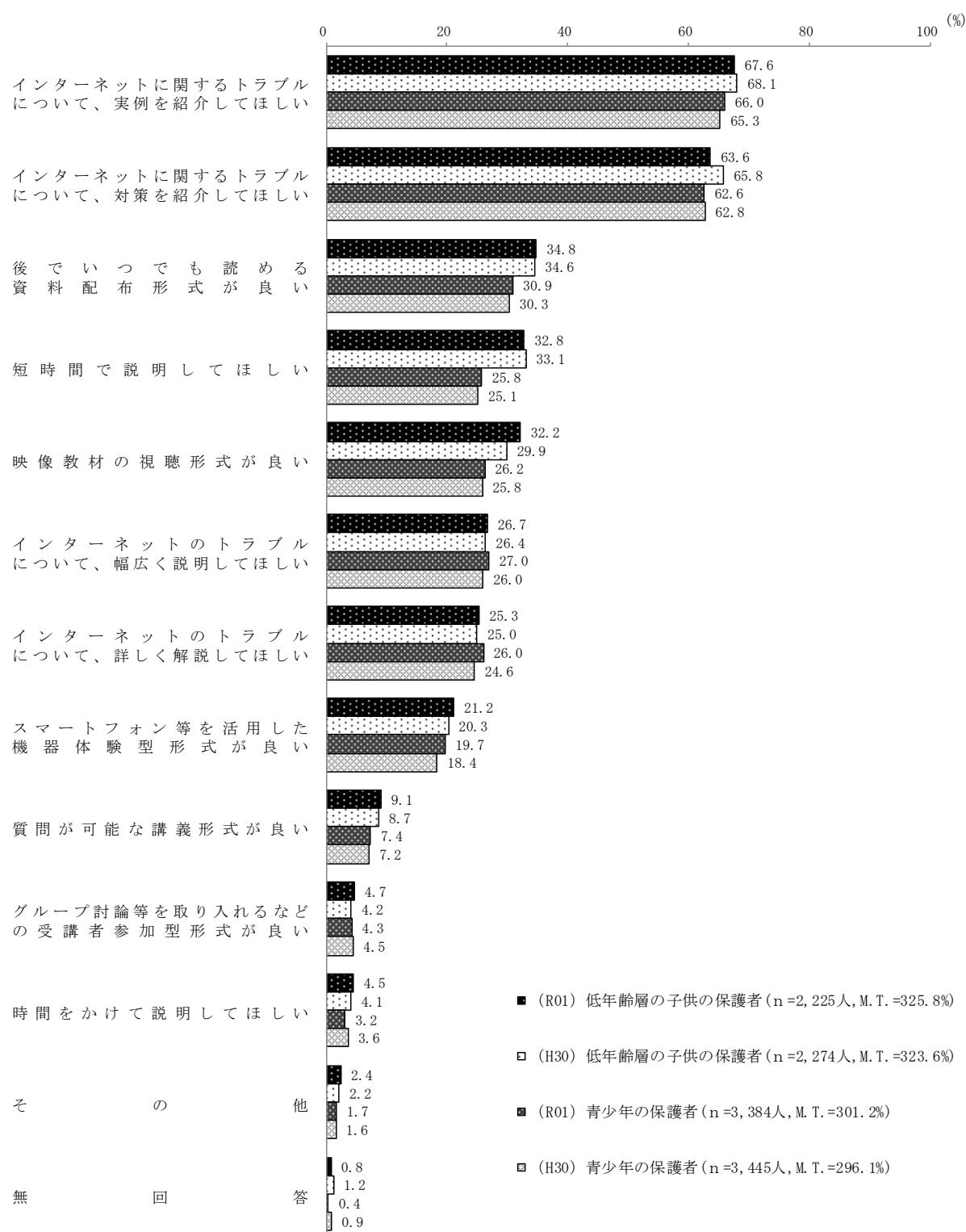
青少年の保護者の「インターネットの危険性に関する学習内容や形式」の回答(第2章 第2節(3))と比較すると、「短時間で説明してほしい」は低年齢層の子供の保護者で多い。

平成30年の調査結果と比べると、大きな変化はみられない。

< 全員に >

Q18 あなた(保護者自身)はインターネットの危険性に関する学習について、どのような内容・形式で行われるのが良いと思いますか。この中から、あてはまるものをすべて選んでください。(いくつでも)

図表 2-3-2-4-1 低年齢層の子供の保護者のインターネットの危険性に関する
学習内容や形式



子供の性別にみると、男女で大きな差はみられない。

子供の年齢別にみると、「インターネットに関するトラブルについて、対策を紹介してほしい」は9歳の保護者で69.0%と多い。

図表 2-3-2-4-2 低年齢層の子供の保護者のインターネットの危険性に関する
学習内容や形式（子供の性別、年齢別）

	n (人)	インターネットに関するトラブルについて、実例を紹介してほしい	インターネットに関するトラブルについて、対策を紹介してほしい	インターネットのトラブルについて、幅広く説明してほしい	インターネットのトラブルについて、詳しく解説してほしい	短時間で説明してほしい	時間をかけて説明してほしい	映像教材の視聴形式が良い	質問が可能な講義形式が良い	体験型形式が良い	スマートフォン等を活用した機器	グループ討論等を取り入れるなどの受講者参加型形式が良い	後でいつでも読める資料配布形式が良い	その他	無回答
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
(R01) 【総数】	2,225	67.6	63.6	26.7	25.3	32.8	4.5	32.2	9.1	21.2	4.7	34.8	2.4	0.8	
(H30) 【総数】	2,274	68.1	65.8	26.4	25.0	33.1	4.1	29.9	8.7	20.3	4.2	34.6	2.2	1.2	
[子供の性別]															
男性	1,129	66.9	63.5	26.9	25.3	32.9	4.0	31.1	8.9	19.9	4.6	36.3	2.6	1.1	
女性	1,096	68.3	63.8	26.5	25.4	32.8	5.1	33.3	9.2	22.4	4.7	33.3	2.3	0.5	
[子供の年齢別]															
0歳	85	72.9	65.9	27.1	28.2	34.1	4.7	31.8	11.8	30.6	4.7	32.9	1.2	1.2	
1歳	182	67.6	63.7	27.5	23.1	32.4	6.0	28.0	8.2	22.0	7.7	26.4	1.6	1.6	
2歳	200	66.0	61.5	29.5	24.0	36.5	5.0	28.5	8.0	29.5	5.0	37.5	1.5	-	
3歳	219	69.4	62.1	28.8	24.2	31.5	4.1	32.9	8.7	17.8	4.1	33.3	4.6	0.9	
4歳	209	72.2	66.5	28.2	25.8	35.9	3.8	31.1	9.1	21.1	1.9	36.4	2.9	0.5	
5歳	238	63.0	61.8	25.6	26.1	32.4	3.4	32.8	11.8	20.6	3.8	34.9	2.5	0.8	
6歳	241	67.6	63.1	25.3	22.0	31.1	3.3	33.2	11.6	21.6	6.6	37.3	2.9	1.2	
7歳	277	66.8	60.6	24.9	27.4	31.8	6.1	31.8	7.9	18.1	5.1	39.7	2.2	0.7	
8歳	290	66.6	63.1	24.8	25.2	31.7	2.8	35.5	5.5	20.3	3.8	33.8	2.1	1.0	
9歳	284	68.0	69.0	27.1	27.8	32.7	6.3	33.5	10.2	18.7	4.6	33.1	2.1	0.4	

(5) 低年齢層の子供の保護者のフィルタリングの認知度

回答した全ての低年齢層の子供の保護者(2,225人)に、この調査に答えるまで、フィルタリングとは何かを知っていたか聞いたところ、「知っていた」が42.0%、「なんとなく知っていた」が43.9%であり、合わせると「知っていた(計)」は85.9%である。「まったく知らなかった」は、13.7%となっている。

平成30年度の調査結果と比べると、「知っていた」が、平成30年度(38.1%)から令和元年度(42.0%)で3.9ポイント増加している。

子供の性別にみると、男女で大きな差はみられない。

子供の年齢別にみると、「知っていた」は9歳で47.2%と多くなる。

< 全員に >
Q19 あなた(保護者自身)は、この調査に答えるまで、フィルタリングとは何かを知っていましたか。この中から、1つだけ選んでください。
 (注) 7ページの「フィルタリングとは」をご覧ください。

図表 2-3-2-5-1 低年齢層の子供の保護者のフィルタリングの認知度(子供の性別、年齢別)

